

道徳 ジャーナル

103号(冬号)

- 21世紀 心の時代に
痛みと苦しみの末に見えてきた「希望」
式町水晶……………1
- 道徳授業 私の実践
・人物教材を扱った道徳授業に挑む～人物の生
き方を子どもたちの心に～ 平木恭子……4
・あたたかいクラスを作り上げるために～読み
物教材の活用を通じて～ 川島拓……………6
・マンガ教材の読み込みと活用について～マン
ガ特有の表現に着目した発問づくり～
堀口健太郎……………8
- どうなるこれからの道徳授業……………10

僕の障害の正式な名称は、「小脳低形成」という脳性まひです。早産により一八三六日の未熟児で、小脳が通常の半分以下しかなく状態で生まれました。小脳というのは運動調節をつか

たのです。
「僕の苦しみは誰にもわからない」とかたくなに思ってきました。つねに心は孤独と闘っていたのです。
二〇一八年四月十一日、僕はバイオリニストとして、念願のデビューを果たしました。デビューアルバムタイトルの「孤独の戦士」。小学六年生のときに八王子医療刑務所へ慰問演奏に行った際に、受刑者の方々の前で演奏した自作の曲のタイトルを、そのままアルバムタイトルにしました。僕はこれまでの人生で何度も「僕の苦しみは誰にもわからない」とかたくなに思ってきました。つねに心は孤独と闘っていたのです。

六年生のときに作った『孤独の戦士』

痛みと苦しみの末に見えてきた「希望」



さどる器官で、筋肉の緊張と弛緩しかん、つまり「力を入れる、入れない」をコントロールしているところ。それが僕は半分以下なので、特に関節の可動部分が勝手にこわばったり、ピクピクと反射したりしてしまい、指や肩、腰、背中、足にもまひがあります。それでもなぜバイオリンが弾けるのかというと、上半身は六級、下半身は四級と、上半身のほうがまひが軽度だったこと。また、四歳のときに母が指のリハビリのために、バイオリンを習わせてくれたことが功を奏したのだと思います。
バイオリンというと高級志向な印象がありますが、うちは母子家庭で、母が介護ヘルパーの仕事しながらレッスン費を捻出してくれて、楽器はレンタルでした。さらに驚くことに祖父が自宅を売り、祖父母と母と家族四人で狭い借家ですましい暮らしをしながら、バイオリンを



バイオリニスト
式町水晶



ライブ演奏の様子。

弾く僕を支えてくれたのです。

中でも、母は本気で僕を「プロのバイオリニストにしたい」と背中を押し続けてくれました。それは僕が五歳のとき、地元で葉加瀬太郎さんの演奏を聴いて、「ああいうバイオリニストになりたい」と、つぶやいたことがきっかけだったと言います。さらに、老人ホームでの慰問演奏など、人前で演奏する機会を多く作ってくれたのも母でした。障害があっても家の中に閉じこもるのではなく、人の輪の中に入っているような体験をしてほしいと願っていたそうです。

八王子医療刑務所での慰問演奏では、「今日は、皆さんのために曲を作ってきました」と、坊主頭の小さい僕が車いすから立ち上がって、『孤独の戦士』を弾いたとき、受刑者の方々が涙を流しながら拍手や声援を送ってくださいま

した。僕の孤独な心と、受刑者の方々の孤独な心が共鳴し合ったのかもしれない。その後、このときの活動が認められて、教育委員会より児童賞として表彰していただきました。

できているうちに全力でやらなきゃ!

しかし、その荣誉が、僕が障害と向きあわざるを得ないきっかけになりました。新聞に載った僕の写真を見たクラスの子たちから「障害者のクセに……」と言われたのです。

それまで特別支援学級にいた僕は、六年生で転校して通常学級に通うことになりました。そこから暴言、無視などのいじめが始まりました。悔しくて悔しくて、僕は勉強でみんなに勝つてやろう、と心に決めました。日々、体の調子が悪く、視神経の異常から目もどんどん悪くなっているころでした。誰だって明日死ぬかもしれない命だけれど、僕は他の人よりも命のリミットがあるのを痛感していました。「だったら、まだ何かできているうちに全力でやらなきゃ!」と、考え方がシフトしていったのです。成績は自分でも驚くほど上がっていききました。でも、親しい友達はいませんでした。

僕のバイオリンの師匠である中西俊博先生は、世界的に活躍するジャズバイオリニストの

第一人者であり、先生との出会いが僕の人生を大きく変えてくれました。

「プロのバイオリニストにするためには、いい先生に教えてもらいたい」との思いから、母は強い情熱で先生を探し続け、中西先生にたどりつき、毎日のように事務所に電話をかけて、「レッスンしてもらいたい」と頼み続けました。「先生も根負けしたんじゃない?」と母は笑いました。明るくパワフルな母ちゃんなのです。

そうして、中西先生のレッスンに通い始めたのが十一歳のときでした。先生は障害のある僕がいかにバイオリンの能力を高めていけるか、自らも熱心に研究してくださり、二人三脚で始めました。先生は指の力をコントロールできない僕に、「力を抜くコツ」として、ボールに入れた豆腐をふわっとつかむ練習を自宅での宿題に出したりしました。母が大量に木綿豆腐を買ってきて、練習しては家族で豆腐料理を食べる日々が続きました。僕はこういうわけか根っからの負けず嫌いで、できないことをコツコツと努力し続けて、できるようになったときに大きな達成感と喜びを感じるので。しかし、あるとき、中西先生から、「みっくん、バイオリンの音がきつくなつたね」と言われました。勉強でも勝って、「クラスのみんなの悔しがる顔が見たい」と思っていた僕は、きつと根性が

ねじ曲がった顔をしていたのではないでしょう
か。「音がきつくなつた」と中西先生に言われ
て、怒られる覚悟で自分の気持ちを正直に言
いました。

「僕は、バイオリンを武器として健常者に勝
ちたいんです」

すると先生は目に涙をためて僕を抱きしめな
がら、こう言ってくれたのです。

「ごめんね、みつくん。つらかったね。僕に
は障害がないから、障害があるみつくんのつら
さを分かってあげられないんだよ」

そう言われてハッとしました。僕の考えは間
違っていたのかもしれない、と。トゲトゲして
いた心が少しずつ癒されていくのを感じました。

人は誰でもその人にしかない苦労がある

さらに僕の心を大きく動かしたのは、二〇一
一年三月十一日に起きた、東日本大震災でし
た。当時、十四歳だった僕は、「僕のバイオリ
ンで誰かを少しでも救うことができたら」と考
えました。それが初のチャリティコンサートに
つながり、何度も被災地に足を運びボランティ
アで演奏を続けてきました。被災地に行くと、
自分のほうがつらい思いをしているのに、「遠
くまで来てくれてありがとう」と、温かく手を

握ってくれる方々がたくさんいました。そのと
き、僕の障害なんて大したことじゃない、と気
付かされたのです。

僕の手元には今、一本の大切なバイオリンが
あります。陸前高田市の景勝地「高田松原」の
七万本の松の中で、唯一、津波を逃れた「奇跡
の一本松」を覚えています。その材木から、
日本では数少ないバイオリンドクター（修復家）
である中澤宗幸先生が四台のバイオリンを作り
ました。プロアマを問わず、千羽鶴のように千
人の演奏家がリレー式でこのバイオリンを弾い
て思いをつないでいこうと、被災地への「鎮魂
と希望」をこめた「津波バイオリン」です。

その中の一本を「ひとりの演奏家が長く大事
に弾き続けて、次の世代に思いをつないでいく
のも大切なのではないか」と考えた中澤先生
が、僕に託してくださいました。

このバイオリンを持って、先日も陸前高田市
の病院へ慰問に行きました。その病院で、僕は
幼いころの自分を思い出していました。闘病生
活のこと、そのときに支えてくれた人たち。ま
ずい病院食のこと。「お母ちゃんに、僕の体の
痛みなんて分からない」と言ったことも……。

デビュー二年目となった今、僕を応援してく
れる、かつて関わることのなかった同世代の方
たちとふれあう中で気付いたことがあります。

障害があるから苦しいわけじゃない。人は誰で
も、その人にしかない苦労があるのではないで
しょうか。一人一人が違って、個性があつて、
価値観も考え方も違う。だからこそ素晴らしい
のだと、僕は思います。お互い百パーセント理
解し合うことは不可能でも、中西先生が僕にし
てくれたように相手に寄り添い理解しようとす
るだけで人は幸せになれると思います。

今の夢は漠然としていますが、こんな僕でも
何かの役に立てるとしたら、お互いの違いを認
め合い、たくさんの壁を取り払うことができ
たら。その手段が音楽であつたらいいな、と思っ
ています。コンサートに来てくれるファンの
方々には最高に感謝していて幸せの極みだけ
ど、病気をもつていて施設にいる方々や音楽を
なかなか身近で聴けない人たちにも生の音を届
けたい。

何よりも人とのつながりを大事にしたい、と
今の僕は思っています。

（しままち みずさ）
QRコードから式町さんの演奏をご試聴いた
できます。ぜひお聴きください。



「孤独の戦士」
MV



2st Album
ダイジェスト

道徳授業私の実践

鳥取県八頭町立船岡小学校
教諭
平木 恭子

人物教材を扱った道徳授業に挑む

人物の生き方を子どもたちの心に

はじめに

「特別の教科 道徳」と位置付けられ、研究が進められている道徳科。しかし、その重要性を感じつつも、どのように授業を進めたらよいのか悩むばかりであった。そんな私が、人物教材を扱う面白さに気付くことのできた忘れられない実践がある。

授業の実際

○対象 小学六年生

○主題名 探究する意欲

○教材名 光をともした「魔法の薬」
(学研)

○内容項目 真理の探究

○ねらい 根気強く研究を進め、多くの人の命を救った大村智さんの生き方、考え方に触れることで、自分から物事を探究していきたいという心情を育てる。

○教材について

ノーベル医学・生理学賞受賞の大村智さんの功績を通して、ねらいに迫る教材である。微生物の研究に取り組みようになった大村さんが、人間の健康

に役立つ抗生物質の開発に取り組み、失敗してもチャレンジし続ける姿が描かれている。真理を求め、物事の本質を見極めようとする大村さんの生き方が、大きな感銘を与える教材である。

【導入】

事前に道徳ノートで調べ学習を行い、伝え合う場を設定。その上で「子



ども時代の様子」「家族構成」「支えてくれた人」「困難や挫折」「後世に残した物や影響」など、調べ学習の観点を与えていった。

発問 大村智さんについて、どんなことを知っていますか。

- ・ノーベル賞をもらった人。
- ・微生物の研究をして薬を開発した。
- ・山梨県の農家出身。
- ・いたずらっ子で近所の悪玉と呼ばれていた。
- ・農業の手伝いをする働き者。

【展開】

発問① 大村さんの考え方や生き方、どんなところに心を動かされましたか。

- ・楽な道を行くと本当のいい人生にはならないという言葉。
- ・何回失敗しても、成功を求めて研究したところがすごい。
- ・いつも研究のことを考えていた。
- ・何度失敗しても、あきらめずに研究を続けたところが心に残った。
- ・「人のためになることを考えなさい」という言葉通りに頑張ったところがすごい。
- ・たくさんの人のために特許権を手放した。

発問② 大村さんは、何のために頑張って研究を進めたのだろう。

- ・感染症の人を楽にしてあげたい。
- ・微生物の研究は人間に役立つかもし

れない。

「人のためになることを考えなさい」という祖母の言葉を考えて。

問い返し

「人を助けたい」「人のためになることをしたい」という思いだけで、なぜ何度失敗しても研究を続けられたのだろうか。

- ・微生物のことが好きだった。
- ・微生物のとりこになった。
- ・微生物にはまった。
- ・研究することが楽しい。
- ・研究をやめられない。
- ・何回も失敗するけれど、最後に成功したとき気持ちがいい。

発問③

今日学習した大村さんの生き方から、どんなことを考えましたか。ぼくはと大村さんの違いを考えました。ぼくはヘビを捕まえたなら「やったあー」で終わってしまうけれど、大村さんだったら、それだけで終わらず、「このヘビの特徴を生かして何か人のためになることができなかな」と考えると思う。大村さんは、自分の好きなことだからこそできています。好きを生かしているところがすごいと思った。

私は、スポーツや生き物の飼育で失

敗したとき、なんで失敗したのだろうと考える。何回も考えてやり直したら最後にスッキリして達成感がある。大村さんも、何度失敗しても、最後には何か見付けられると知っているから頑張

れたのかなと思っただけか、何かあると思うとやりたくなる気持ちには私にも分かる。



【終末】

大村さんの言葉やエピソードを紹介しながら、その生き方が人々にどんな影響を与えたのかまとめた映像を流し、授業を終えた。

実践を通しての気付き①

児童は一か月前の修学旅行で、京都大学の五人の学生がそれぞれ打ち込んでいる研究テーマを紹介するワークショップに参加した。そこで、興味がある分野をひたすら研究し、生き生きと語る学生たちと触れ合った。この体験が、今回の大村さんの生き方と重なる

と考へ、授業の中で学生たちの姿を思い浮かべせる展開を入れようとした。しかし時間的に厳しいと判断し、割愛してしまっただ。

その結果、内容項目である「真理の探究」ではなく、関連価値の「希望と勇氣、努力と強い意志」に引っ張られる発言が多くなった。「真理の探究」のように児童が内容項目を捉えにくい場合、実際に出会った人々から感じさせたり、児童自身の体験に結びつけて考えさせたりすることが必要であると感じた。

実践を通しての気付き②

今回の授業で関連価値に引っ張られた大きな要因として挙げられるのは、私自身が教材研究を行う段階で、大村智さんにとっての真理の探究は教材のどこにあるのか、大村さんの生き方はどうすれば真理の探究にもっていかれるのか、といった内容項目ありきで人物を見てしまったことだ。本来、内容項目を意識して人生を歩む人はいない。人生には、様々な価値があつて当たり前である。だからこそ、人物教材を扱

う上で大切なのは、その人物が大切にしてきたもの、人生で貫いたことをキーワードに調べていくことである。そして、授業者自身が、その人物を通して児童に何を伝えたいのか考えておく必要がある。

また、人物教材を扱う上で、ねらいとする一つの内容項目だけで進めようとすると理解が深まらない。関連価値にも意を用いながら、授業をコーディネートし、ねらいに迫ることが重要であると考へる。

終わりに

授業後、クラス内で、大村さんについてさらに調べたり、会話の中で大村さんの名前が出てきたりすることがあった。児童にとって、大村智という人物は心に残る人となったようだ。

誰しも人を好きになつたら、その人のことを深く知りたくなる。人物教材の授業を考へる上で大切なことは、まず授業者がその人物を好きになることである、と実践を通して感じた。

(ひらぎ きょうこ)

道徳授業私の実践

神奈川県藤沢市立御所見中学校
教諭
川島 拓

あたたかいクラスを作り上げるために

読み物教材の活用を通じて

はじめに

学校に来る目的は何だろう。なぜ、学校に来るのだろうか。毎日何を何となく過ごしているうちに自分の存在を埋没させてしまい、ただ与えられた指示に従っていく。悩みがあっても自分で答えを導くことができずに教師に解決を求めてしまう。本来、学校は「社会に出て、よりよく生きる力を身に付けるための力を育む場」ではないか。集団活動を通して問題解決力を身に付け、他者との関係の中で直面する課題に悩

み、苦しむことで成長していくものがある。自分の力で物事を解決に導く力を身に付けさせたい。

自立するための力

社会に出て、よりよく生きる力を身に付けるために「自立する」意識を学ばせていきたい。常に周囲への気遣いを優先し、自己の意志を表現できずにいては、物事を深く見つめて、自分の力で解決していく能力は身に付かない。周囲に流されることなく自分で考えて決定していく力を道徳の時間を通

して身に付けさせていきたい。一人一人が信念を持って行動し、自立した生活を送ることができれば集団の質が向上し、クラスや学年がお互いを認め合い、あたたかな空気の中で落ち着いた日常を送ることができる。

内省を深めるために

道徳の授業は正しい答えを導き出す時間ではない。他人の考えを真剣に聞き取り、自分の心の奥深くに焦点を当てて自己内省を図り、自分自身のよりよい生き方につなげていく時間であ

る。教師が教え込むのではなく、生徒と教師が同じ立ち位置で「共通の問題」に向き合う時間である。読み物教材を活用するよさは「主人公」に焦点を当てて、「どう思うか」などの問いかけを中心に、心豊かに語り合うことができる点にある。本音で語り合い、思いを共有することで集団の中に自分の居場所を確保し、自己肯定感を高め、大人になっていくための自信と社会で生きるためのスキルを身に付けさせたい。

今年度より教科書が支給され、毎時問何をすべきかが教師にとって明確になった。しかし読解に頼り、問いを投げかけて答えを導くスタイルでは教師と生徒が対峙する授業に陥ってしまい、自己の内省が深まらない。

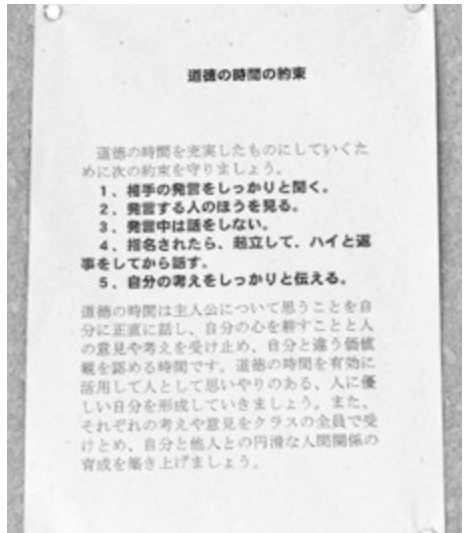
私が道徳の授業で伝えたいことは以下の三つである。

- 1 生命を大切にすること。
- 2 ありのままの自分を見つめること（自尊感情の大切さ）。
- 3 自分と異なる意見を尊重すること。

そのために「道徳の時間の約束」でルールを明確にし、それにのっとって授業を展開していく。

授業展開

- ① 何気ない日常会話の中で導入を行う。
 - ② 教師が範読を行う。
 - ③ 感想を聞きながら、全体の雰囲気を探る。
 - ④ 中心発問「主人公の行動や考え方についてどう思うか」を掘り下げていく。
 - ⑤ 感想用紙に記入しながら、振り返りの時間を共有する。
- 私はこのような展開方法をとっている。これは相模原市の石田教諭から手法を学び、藤沢市で試行錯誤を繰り返している方法である。



教材について

- **主題名** 自分の行動に責任をもつ
- **内容項目** 自主、自律、自由と責任
- **教材名** 「裏庭での出来事」
〔中学生の道徳 明日への扉 1年〕学研

生徒は公開授業に慣れており、お互いに自分の考えや主張を自由に言い合える雰囲気をもっている。他人の言葉に真剣に耳を傾ける姿勢もある。他人の言葉を自分の言葉のように共有し、思い悩む様子も見られる。発問は「主人公の行動や考え方について、どう思いますか？」の一点で行った。

今回の実践では、夏休みが明けて「少し友人関係に迷いが生じて登校を渋りがちな生徒たち」にスポットを当てたため、どちらかというところまじめに物事を捉える生徒を意図的に指名し、意見を発表させた。はじめは「主人公は最後に先生のところに向かったからよいのではないか」という雰囲気になっていた。私はそれまでの授業ではあ

まり口を挟まずにただ「そうなんだあ。」と協同的同意を繰り返してきたが、今回は少し強い語調で「主人公」の弱さを指摘した。その後の話し合いの中で意見を聞きたいと思っていた生徒一人を指名をしたところ、「やっぱり主人公の取った行為は分かる。仕方がないと思う。」という言葉が返ってきた。ところがそれを聞いた仲のよい友人が何か言いたげな表情を見せたので指名をしたところ「主人公の行動はよくない。」と強く主張した。このやりとりの間、私はできるだけ自分の存在を隠して聞いていた。

道徳の授業は生ものである

今回の授業を通して強く感じたのはやはり「道徳の授業は生ものである」ということである。予想しない方向に展開し、教師の意図とは全く別の方向に流れていく。場面によって軌道修正が必要であるが、生徒の言葉のやりとりによってより生き生きと授業が動き出す。これが道徳の授業の面白さである。

ふだん多くを語ることはない生徒でも、道徳の授業だけは自分を語れる。

主人公というフィルターを通して、本当はどう思っているのか他人の本音を知ることができる。この繰り返しの中でクラスにあなたがかい雰囲気と互いを受けとめる姿勢が生まれ、過ごしやすい環境ができあがると実感している。

おわりに

道徳の授業の取り組み方については様々な手法があるが、読み物教材の活用については今回のように、生徒の反応を注意深く見守り、生徒の発言を引き出す補充発問を適宜問う方法が効果的だと思う。何気なく日常を過ごしている生徒らも実は本音を隠し、言葉を選びながら窮屈に日々を送っているように見えてならない。情報が大量に蔓延し、多くのことが見えやすいように、実は表面的にしか人との付き合いができずにいる。ふだんははっきりとは言わないが、ぼそつとした一言に本音が隠れているものである。お互いがそれぞれの本音を教室で出し合える環境こそが「あなたがかいクラス」になるために必要なことではないかと思う。

(かわしま ひらく)

道徳授業私の実践

大阪教育大学附属平野中学校
教諭
堀口健太郎

マンガ教材の読み込みと活用について

マンガが特有の表現に着目した発問づくり

はじめに

中学校では今年度から道徳が「特別の教科 道徳」となり、教科書を使用しながら、様々な工夫をこらして授業が行われている。その中で半数以上の教科書に「マンガ」教材が掲載されている。副読本でも何点かマンガが教材になっていたが、なぜマンガが読み物教材として採用されるのだろう。理由として考えられるのは、

- ・理解しやすい（文章を読むのが苦手な生徒でも内容をつかみやすい）。

- ・親近感や興味をもちやすい。
- ・道徳的価値を深く考えさせる内容のマンガが多く存在する。

などである。

一方で私たち指導者は、マンガ教材をどのように活用すればよいのだろうか。本校では昨年度、学校全体で道徳の研究に取り組み、マンガ教材の活用方法について提案を行った。

マンガだからこそできる読み方

マンガ教材の授業では、読み物教材と同様に、登場人物のセリフや行動か

ストーリー上重要であることが多い。また、人物の配置や向き、目線などで心を表現することがある。

○背景描写

背景描写に注目すると、背景に、風景が描かれる場合と白色や黒色のべた塗り、またはパターンが使われる場合がある。黒色のときには登場人物の思いや心理的な揺らぎが表現されていたり、黒から白に変えることで雰囲気を変え効果があったりする。場面に合わせてパターンを使用することで優しい雰囲気や深刻な雰囲気をつくることもある。人物やセリフに集中線（放射状の線）を描いて強調するなど、背景だけでも様々な技法が利用されている。

○音による表現

マンガでは、音の表現や心理描写として「ドンッ」「ズドーン」「パッ」などオノマトペを多用する。人物の近くに「ガーン」と書いてショックを受けている様子を表すなどは代表的な例だ。それらのフォントや大きさを変えることで、場面の様子や心理的な描写、強調を行うこともできる。

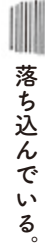
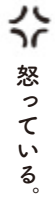
ら発問をつくるのが一般的である。しかし、マンガでは文字以外にも多様な表現方法が活用されており、単にセリフや行動を追うだけでは深い部分での心象や作者の意図を捉えきけることはできない。マンガだからこそ使われている表現を捉え、読み取ることが必要になる。

本稿では、次に挙げるマンガ特有の表現方法に着目した。

○コマの大きさ

マンガには、大きなコマと小さなコマが混在している。大きなコマや見開きページは強調が必要な場面など、ス

○心理状態を表す表現



これらは代表的なものだが、こうした描写があるだけで登場人物の心理状態をいきいきと表現できる。

つまりマンガは、セリフを含め、表現すべてに登場人物の心理状態など作者の意図がこめられていて、これらを発問に活用することで授業の幅が大きく広がる。

授業の実際

○内容項目 生命の尊さ

○教材名 「ブラック・ジャック ふたりの黒い医者」(『中学生の道徳 明日への扉2年』学研)

○ねらい 生命の尊さと尊厳について深く考え、自他の生命を尊重し、よりよく生きようとする心情を育む。

○主な発問と生徒の反応

発問① ブラック・ジャックとキリコ

の共通点を絵柄から探そう。

「どちらの服も黒い」

「ママ(患者)の意見を真剣に聞いてる」

「思った通りに進まない(納得できない)」

「い」 ときに汗をかく」

《ドクター・キリコに注目する》

発問② キリコがママ(患者)に対して「それで死にたいというのですか」と言う場面→なぜキリコは汗をかいているのか。

「汗をかいているのは、子どものために死ぬと言うママの発言に納得していないからでは?」

「子どもたちはママに死んでほしくない」

発問③ では、キリコはどんな医者なのか。

「本当は安楽死させたくない」

発問④ キリコが目指しているものは何か。

「人間の生死は自然であるべき」

《ブラック・ジャックに注目する》

発問⑤ ブラック・ジャックが「それでも私は人をなおすんだ」と言う場面→「それでも」にはブラック・ジャックのどんな気持ちが表示されているか。

「人の生死は自然」とキリコに言われて反論できないが、自分の生き方は変えられない」

発問⑥ 最後の場面で吹いている強い風は何を表しているか。

「厳しい現実に向かってあらがうブラック・ジャックの強い意志」

発問⑦ ブラック・ジャックはなぜ生きるために人を治すのか。

「人を生かすことが自分の使命だから」

「人を生かすことが自分の生きる意味だから」

マンガ教材の課題と展望

○マンガ教材を使用する上での課題

・マンガ独特の表現方法を紹介し、読み方を生徒に説明する必要がある。

実はマンガの読み方は、誰もが習ってはいないため、人によってマンガへのアプローチが異なる。すぐに読み終える生徒もいるため、読み方を整える作業が必要となる。
・マンガによっては好き嫌いがはっきり出る。

生徒はマンガに対する好みや、ストーリーより画風で判断することが多い。画風が好みでなければ初めから読む意欲を失う場合がある。

○マンガ教材の展望

マンガは膨大にあるため、「ブラック・ジャック」以外にもたくさんマンガを教材として使用することができ、マンガならではの表現方法に着目して発問を組み立てると、ねらいに迫ることができるとある。つまり、まだまだ道徳の授業で活用するために、研究の余地があるだろう。

おわりに

マンガ教材は必ずしも「理解しやすくない」わけではない。むしろ読み込みが難しいマンガもある。一方で生徒たちはマンガに親しんでいるので、これを教材として使いこなせたら面白いのではないだろうか。「道徳で使えそうだな」というマンガをこれからも探したい。(ほりぐち けんたろう)

どうなるこれからの道徳授業

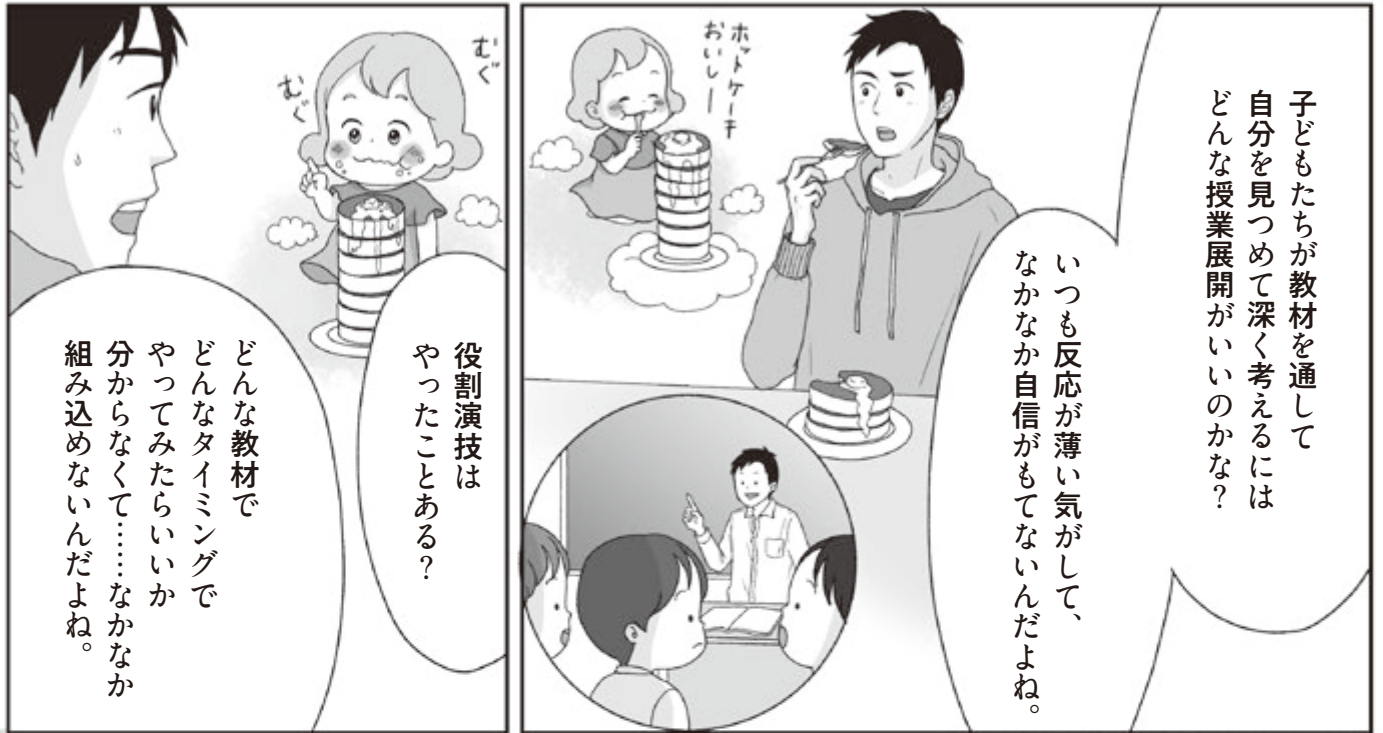
連載5回 役割演技編



とくちゃん

監修・法政大学
キャリアデザイン学部兼任講師 廣瀬仁郎先生

マンガ・のはらあこ

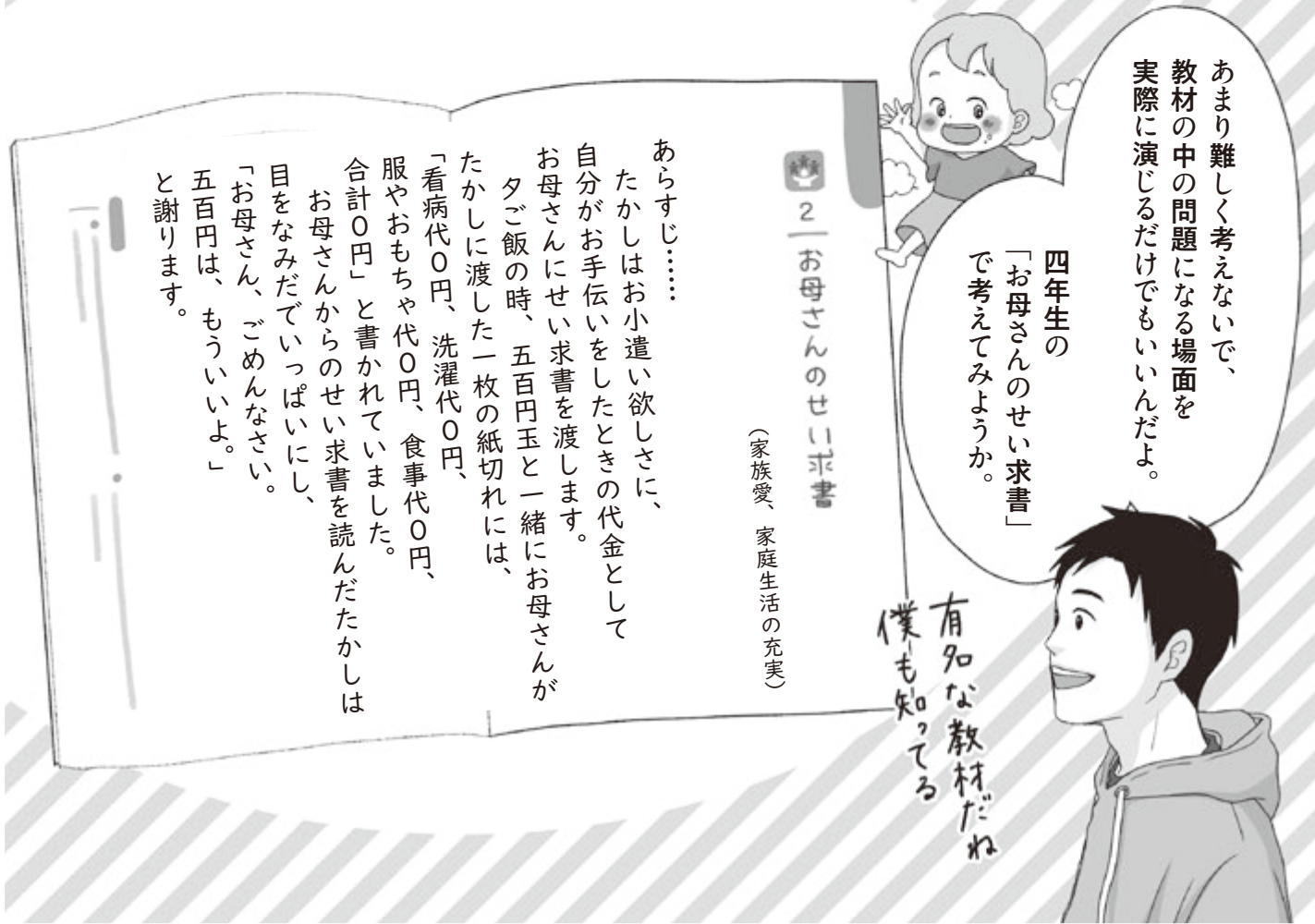


子どもたちが教材を通して
自分を見つめて深く考えるには
どんな授業展開がいいのかな？

いつも反応が薄い気がして、
なかなか自信がもてないんだよね。

役割演技は
やったことある？

どんな教材で
どんなタイピングで
やってみたらいいか
分からなくて……なかなか
組み込めないんだよね。



あまり難しく考えないで、
教材の中の問題になる場面を
実際に演じるだけでもいいんだよ。

四年生の

「お母さんのせい求書」
で考えてみようか。

② お母さんのせい求書

(家族愛、家庭生活の充実)

あらすじ……

たかしはお小遣い欲しさに、
自分がお手伝いをしたときの代金として
お母さんにせい求書を渡します。
夕ご飯の時、五百円玉と一緒にお母さんが
たかしに渡した一枚の紙切れには、
「看病代0円、洗濯代0円、
服やおもちゃ代0円、食事代0円、
合計0円」と書かれていました。
お母さんからのせい求書を読んだたかしは
目をなみだでいっぱいにし、
「お母さん、ごめんなさい。
五百円は、もういいよ。」
と謝ります。

有知な教材だね
僕も知ってる

今回は最後の「目はなみだでいっぱい」という部分に注目してみよう。

教材はここで終わりだけど、その後たかしとお母さんはどんな話をしたのかを想像して、役割演技をしてみよう。

私がお母さん役をやるから先生、教材の最後の文からお願い！

う、うん。分かった！



お母さん、ごめんなさい。五百円は、もう、いいよ。

そう？ お金がほしかったんじゃないの？ どうしてよくなったの？

ありがとう。お母さんはいつもたかしが元気でいてくれることがとてもうれしいのよ。

そうだったんだ。お母さんありがとう。

うーんと……お母さんはいつもぼくの世話をしてくれているのに、ぼくはお小遣いをもらうことしか考えていなかったから……。

役割演技のポイント

- ① 冷やかさないなどの約束を作り、演技の上手、下手は問わないようにしましょう。臨場感を高めるための場の設定や小道具の活用も効果的。
- ② 問題場面をはっきりさせた上で、登場人物になりきって自由で即興的な表現でやりとりが長く続けられるようにしましょう。
- ③ 途中、中断してやりとりの内容を深めたり、役割を交代して再現したりすることで演技の幅を広げよう。
- ④ 演技後に、見ていた子どもたちの感想や意見、提案を聞いて次の演技に生かしていこう。



なるほど、
こうすればいいのか。

実際に演じることで、
主人公に自分を重ねて
考えやすく
なったんじゃないかな。



役割演技を取り入れることで、
一層、道徳の授業への関心が
高まっていきそうだね。
早速今度の授業で使ってみよう！

いいね。
その調子で
次の授業も
頑張っていこう！



反省だけじゃなくて、
お母さんへの感謝や、
家族の役に立つ喜びに
意味があることに、
子どもたちが気付いて
考えられるといいよね。

そうだね。おもしろかった
だけで終わらない、
深い学びになりそうだね。



次回は
「授業の導入
から問題意識
の設定」
について
ご紹介！

請求書
とくちゃん特製
ホットケーキ
¥1000

道徳ジャーナル103号

令和元年12月発行

発行所 株式会社 学研教育みらい 発行人 甲原 洋／編集人 木村友一

本誌のお問い合わせ先…小中教育事業部(〒141-8416 東京都品川区西五反田2-11-8)

内容については…TEL (03) 6431-1565 (編集) それ以外のことは…TEL (03) 6431-1151 (販売)

URL <https://gakkokyoiku.gakken.co.jp>

●「道徳ジャーナル」は左記ホームページでもご覧いただけます。電子版(iOS, Android用)は「学研ブックビヨンド」から。

9300006534

学研 学研教育ネットワーク 検索

